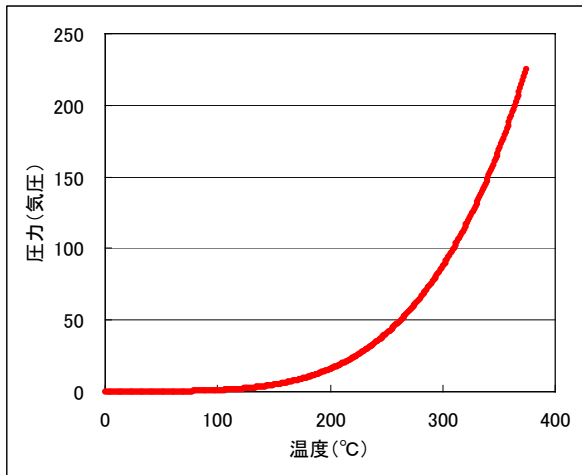


1号機の温度上昇の件

昨日のメモ（No.12）で、飽和温度を直線で近似しましたが、正確には下記ですので、後日、訂正します。機械工学に詳しい方から頂戴しました。いずれにしても、原子炉温度 400 度はありえないことが分かります。



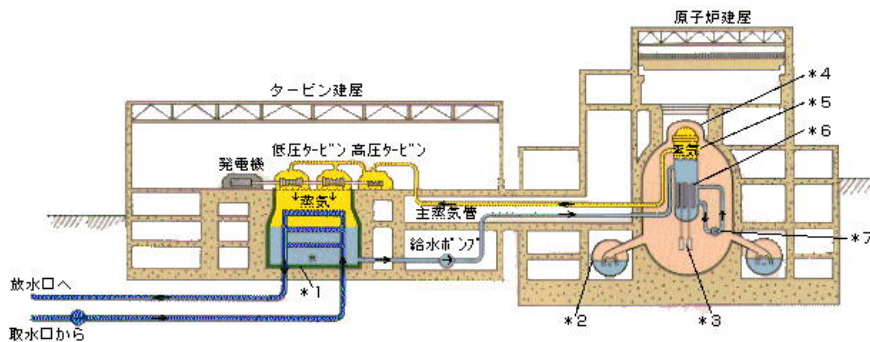
2011-3-25 夜 10 時

3号機タービン建屋でベータ線火傷

今日、3号機タービン建屋の地下で作業員がベータ線火傷した、とのニュースがありました。核分裂生成物の多くはベータ線を出します。ベータ線は近接して皮膚に浴びるとガンマ線より厳しいことは、昨日のメモ（No.12）に私の失敗として書きました。

沃素 131、セシウム 137、セリウム 144 の他に、ジルコニウム 95(半減期 65 日)等、燃料ペレット内の比較的半減期が短く、融点の低い核分裂生成物が測定された、とのこと。事故の当初に炉心が露出して、破損した燃料ペレットから、海水と一緒に原子炉建屋から流出し、タービン建屋の地下に溜まっていた、ということのようです。

(何故流出したかは No.11 で書きました。)



(北陸電力資料より。1号機と同型炉の図)

2011-3-25 夜 10 時